

初の試み!

参加費
無料
(事前申込制)

データサイエンスによる 人口減少対策の提案!

近年、注目を集めている「データサイエンス」。個人の知識や経験に基づく主観的な情報（エピソード）ではなく、データの分析・解析を経て導き出された客観的な情報（エビデンス）に基づき政策を立案する仕組み（EBPM：Evidence Based Policy Making）の導入が模索され始めています。

福井県では、人口減少対策の分野で初めてこの手法を取り入れ、専門家との共同による調査・分析を実施しました。データサイエンスに基づく政策提案やEBPMについて学ぶ初のオンラインセミナーです。

- **データ解析** の手法を活用
- **政策インパクト** 分析
- **エビデンス** に基づく政策立案

日時

2021. 2. 9. Tue / 13:00 ~ 15:00

※ お申し込みいただいた方に視聴用YouTubeチャンネルのURLをお送りします。

プログラム

第1部

自然減対策



福井県の自然減対策政策への評価とEBPM ～データサイエンスによるアプローチ～

講師 **黒木 淳** 氏

横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科准教授

第2部

社会減対策



福井県の人口減少を抑える3つのこと

～社会経済統計とアンケート調査の結果分析から読み解く!～

講師 **杉山 友城** 氏

福井県立大学 地域経済研究所 准教授

申込

所属・氏名・メールアドレスを添えて、下記のアドレスにメールにてお申込みください。

お申込み
お問い合わせ

TEL 0776-20-0258 (平日:9:00~17:00)

FAX 0776-20-0623

MAIL mirai-senryaku@pref.fukui.lg.jp

主催 福井県地域戦略部未来戦略課

